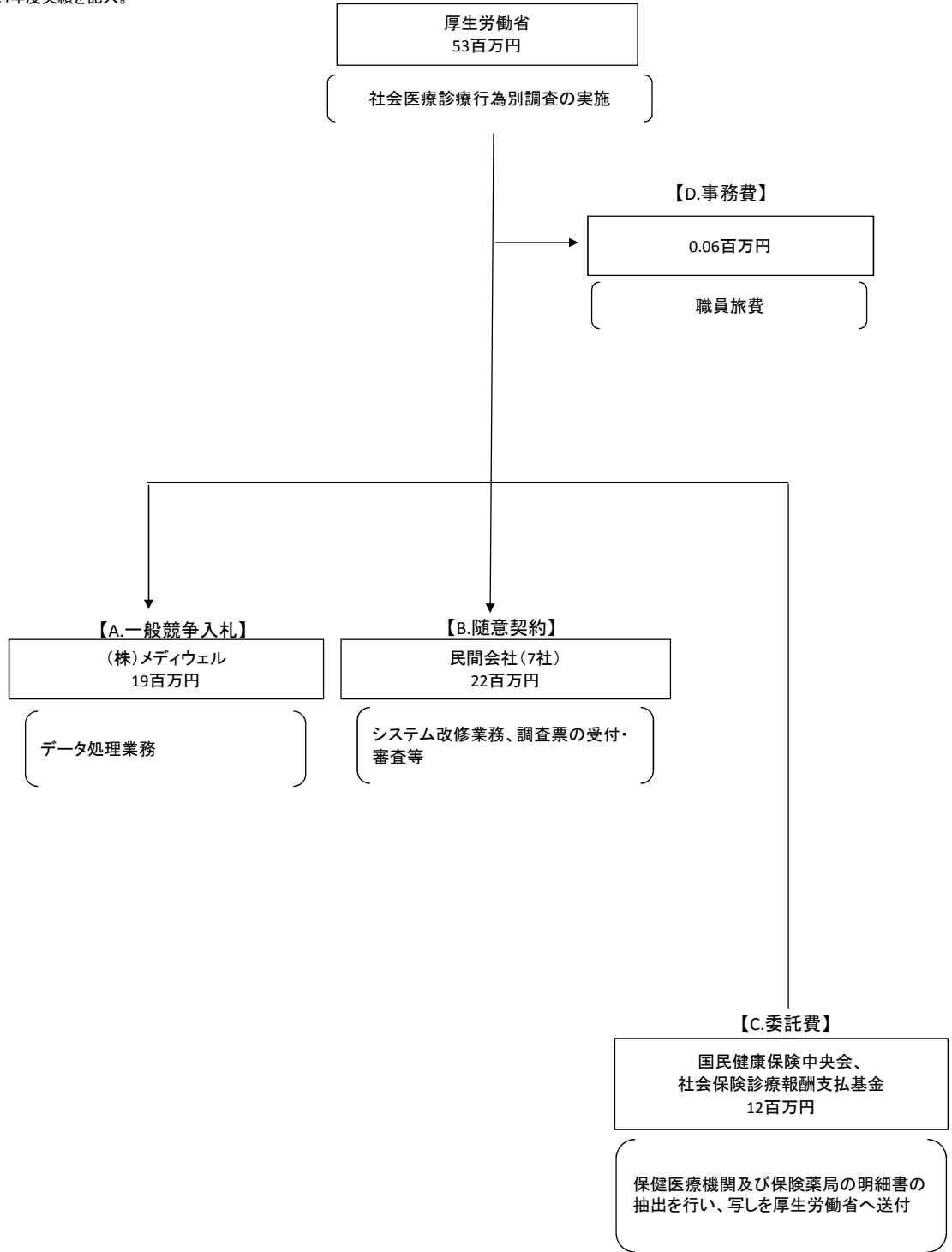


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会医療診療行為別調査		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和30年度		担当課室	人口動態・保健社会統計課社会統計室		室長 稼農 和久		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法(平成19年5月23日法律第53号)第19条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	協会けんぽ、組合健保、国保及び後期高齢者医療における医療の給付の受給者に係る診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、診療報酬改訂に必須となる基礎資料を得ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会保険診療報酬支払基金支部及び国民健康保険団体連合会において、審査決定された6月審査分の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書を対象とし、その写しを厚生労働省に提出する方法により行う。 提出された明細書については、当省において集計を行い、その結果は公表している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等	▲29	▲10				
		計	126	102	69	55	47	
	執行額	126	106	53				
	執行率(%)	100.3	103.9	76.8				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	この事業は、省内各都府県が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため、成果目標を設定していない。			-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	平成24年度客体数:71,710,345枚 公表予定:平成25年6月 公表日:平成25年6月27日			レセプト枚数	443,230	68,721,678 (約1億)	71,710,345 (約1億)	- (約1億)
単位当たりコスト	0.74(円/1枚当たりレセプト)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:24年度執行額(52,769千円) Y:調査客体数(H24レセプト実績枚数71,710,345枚)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.08	0.08	レセプトの電子化の進展に伴う符号化及び入力データ作成費の減 レセプトの電子化の進展に伴う調査手当の減				
	消耗品費	0.3	0.3					
	印刷製本費	2	2					
	雑役務費	39	34					
	委託費	14	11					
計	55	47						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	診療報酬改定のための基礎資料として活用されている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	診療報酬明細書を使用する調査であるため地方自治体や民間等に委託出来るものではない。		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	随意契約については、会計法令上認められている少額の随意契約である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	データベースを活用することで単位あたりコスト削減を行っており、その水準は妥当であると考えている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	調査実施に必要な経費のみとしている。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札差額によるものであり妥当であると考えている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合ったものである。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	診療報酬改定のための基礎資料として活用されている。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>調達に当たっては、可能な部分について一般競争入札を実施する等、引き続き適正かつ効率的な予算の執行に努める。また、調査結果は、ポイントを示すなど国民にわかりやすいように公表資料を作成し、公表する。</p>					
	<p>外部有識者の所見</p>					
<p>点検対象外</p>						
<p>行政事業レビュー推進チームの所見</p>						
事業内容の改善	<p>本事業については、一部不用が生じていることから、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。</p>					
<p>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</p>						
縮減	<p>レセプト電子化の進展と審査員手当等に係る経費を見直したことによる縮減(反映額:▲2,616百万円)</p>					
<p>備考</p>						
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>						
	平成22年	12	平成23年	12	平成24年	12

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)メディウエル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データの処理業務	19			
計		19	計		0
B.富士通(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム改修業務	19			
計		19	計		0
C.国民健康保険中央会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料損料	複写機使用料	2			
調査手当	審査員等の手当	2			
消耗品費	プリンタ用紙や事務用品の経費	2			
消費税		0.3			
雑役務費	提出用明細書作成料	0.1			
通信運搬費	レセプト発送費	0.1			
計		7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディウエル	データの処理業務	19	3	75.9%

B. 民間会社(7社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	システム改修業務	19	随意契約	
2	(株)デンシヨク	報告書の印刷	2	随意契約	
3	テンプスタッフ・メディア(株)	受付・審査業務	0.5	随意契約	
4	(福)友愛十字会友愛書房	書籍の購入	0.4	随意契約	
5	統計印刷工業(株)	調査手引きの印刷	0.2	随意契約	
6	(独)国立印刷局	官報公告	0.05	随意契約	
7	(有)千代田商事	電磁的記録媒体の廃棄	0.04	随意契約	

C. 国民健康保険中央会、社会保険診療報酬支払基金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	レセプトの抽出を行い、写しを厚生労働省へ送付	7	随意契約	
2	社会保険診療報酬支払基金	レセプトの抽出を行い、写しを厚生労働省へ送付	6	随意契約	